

## 「鉄筋コンクリート造実建物における温湿度センサー設置のためのコア抜き業務」仕様書

### 1. 適用

本仕様書は「鉄筋コンクリート造実建物における温湿度センサー設置のためのコア採取業務」に適用する。

### 2. 業務概要

本業務は、独立行政法人都市再生機構との包括協定課題「既存 RC 造共同住宅の耐久性にかかる診断技術の実用化および評価基準・補修材料選定の合理化に関する研究」にて行われる既存建物の耐久性調査に係り、鉄筋コンクリート造集合住宅に温湿度ロガー（直径約 17 mm×厚さ約 6 mm）を設置するための乾式コア採取を行う等の業務である。詳細は次の業務内容に示す。

### 3. 業務内容

#### （1）作業計画

作業着手に先立ち、建築物のコンクリートのコア抜き箇所・コア抜き深さ・本数等について確認・詳細な打ち合わせを担当者で行う。

#### （2）コア抜きのための鉄筋探査作業

コア抜きに先立ち、鉄筋探査の作業を行う。

#### （3）コア抜き

上記鉄筋探査の情報のもと、建築物からコア抜きを行う。コア抜きは、外壁の指定箇所について、部材厚・中性化深さ確認用φ50～75程度：24本（コア抜き後モルタルで埋める。）、温湿度ロガー設置用φ20程度：103本、床の指定箇所について、部材厚・中性化深さ確認用φ50～75程度：4本（コア抜き後モルタルで埋める。）、温湿度ロガー設置用φ20程度：8本である。コア抜きは乾式コアにより行う。なお、コア抜き寸法については、採取箇所の配筋状況や部材断面寸法などによっては変更もあり得る。

#### （4）採取時期

履行期間中において、建築研究所が指定する時期とする。

#### （5）コア抜き箇所の情報化

写真や建物図面等を用いて、コア抜き箇所、コア抜きした部位の情報、コア抜き方法が分かるようにする。コア抜き箇所、コア抜きした部位の情報とは、建物の階数、部位、東西南北、部位における採取位置、屋内外、雨がかり、仕上げ有無・種類のことである。

### 4. 調査予定建物

所在地：茨城県内（詳細は後日受注者に提示）

建築物：5階建て壁式鉄筋コンクリート造共同住宅

## 5. 作業に必要な事項

作業に必要な道具，電源等は受注者が用意する。

## 6. 本仕様書に関する疑義

本仕様書に記載している事項について疑義が生じた場合は速やかに担当者と協議するものとする。

## 7. 成果品

- ・ 3. 業務内容をまとめた報告書 3 部。

## 8. 納入場所

茨城県つくば市立原 1 国立研究開発法人建築研究所

## 9. 検査

業務完了後，検査担当者による検査に合格しなければならない。

## 10. 履行期間

契約日の翌日から令和 2 年 2 月 28 日

		担当者
材料研究グループ	主任研究員	松沢晃一
構造研究グループ	主任研究員	南部禎士